

# 謹賀新年

～「ステップ・アップぎよさい」初年度の状況～

全国の皆様、新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様のご健康とご多幸、そして大漁をお祈り申し上げます。

昨年は九州地方を襲った大規模な赤潮、日本各地に大きな傷跡を残した台風、年とともに出現範囲を拡大しつつある大型クラゲなど、漁業経営にとって受難の年となりました。こういった異常な事象への有効な備えである漁業共済は、漁業経営のセーフティーネットとして、今後、より一層機能していくことが求められています。

「ステップ・アップぎよさい」運動の初年度の加入状況は、12月末の時点で共済金額約3,090億円(前年同期比で101%、約36億円の増)と、百年に一度の大不況といわれる逆風のなか、昨年とほぼ同水準を維持しています。こうした背景には、国の「漁業共済経営環境変化特別対策事業」だけでなく、各県、市町村による掛金助成といった漁業共済加入への手厚いご支援の賜物であるという事は言うまでもありません。ご支援、ご尽力を頂きました関係者の皆様に厚く御礼申し上げるとともに、今年度も残り数ヶ月となりましたが、引き続きよろしくお祈り申し上げます。

今年の干支は寅ですが、浜を取り巻く環境は依然として厳しい状況の中、昨年10月の制度改革によって新しくなったぎよさい制度が、安定的な漁業経営にとっての「虎の子」となれるよう、本運動の目標である漁業共済への普遍的加入及びより補償力の高いん補方式・契約割合へのステップ・アップを目指して頑張っていく所存です。さらには、今年で3年目となる「積立ぷらす」を漁業共済にプラスすることによって、漁業経営の安定により一層貢献することができればと思います。

今後とも共済団体が一丸となって、これまで以上に漁業経営の支えとなれるよう邁進していく所存ですので、皆様のご支援、ご協力の程よろしくお祈りいたします。

